



ドイツ証券会社、266億円の商業用不動産担保ローン証券化を手がける

【2003年8月29日、東京】 ドイツ証券会社東京支店（所在地：東京都千代田区、支店長：ジョン・T・マクファーレン）は、本日、J-CORE NPL1 株式会社（以下、J-CORE）による総額 266 億円の変動利付社債を成功裡に発行した旨を公表しました。J-CORE は、ムーア・ストラテジック・バリュウ・パートナーズ（ジャパン）・エル・エル・シー（MSVPJ）が保有する不動産担保付/無担保ローンおよび不動産を証券化する目的で設立された特別目的会社（SPC）です。

ドイツ証券会社東京支店は、本証券化のアレンジャーを務めるとともに証券の全額を引受けました。

証券化の対象となったローンは、MSVPJ が設立した 10 社の SPC に対し、当初、ドイツ銀行 AG が提供したノンリコースローンです。当該ローンは、SPC10 社が保有する不良債権化したローンならびに所有不動産（以下、原資産）を担保としています。原資産に対しては、これまで 2 度の証券化が既に行われており、この度の案件は MSVPJ による 3 度目の証券化となります。

ドイツ証券グローバル・デット・プロダクツ・ディレクターのエドワード・アドラーは、「この度の証券化では、MSVPJ による過去 2 回の証券化に比べ、幾つかの革新的な要素をストラクチャー上取り入れることで、魅力的なプライシングが可能になりました。すなわち、ファーストペイストラクチャーを採用し、当該ローンの返済が最優先する仕組みとしたこと、原資産の処分価格に厳格な基準を設けたこと、およびオリックス債権回収という優れたマスターサービサーを選定したことで、投資家層の強い需要が得られました」と述べています。

本債券は日本の幅広い投資家層に販売されました。

本案件を通じて、幾つかの革新的な仕組みを日本市場で導入したドイツ証券会社のジョン・T・マクファーレン東京支店長は「本案件は、証券化の組成・販売という面で当社の圧倒的な強みを発揮した案件となりました。今後も顧客の皆さまの幅広いニーズに応えるため、日本および世界の市場で培ってきた経験と実績、そして高い専門能力を存分に活用して、日本の顧客の皆さまに革新的な解決策を提案していきたいと思っております」と述べています。

変動利付社債の概要および格付けは次のようになっています。

号	発行金額（億円）	最終償還	金利	ムーディーズ	S&P	フィッチ
A	168	2008年6月9日	変動	Aaa	AAA	AAA
B	29	2008年6月9日	変動	Aa2	AA	AA
C	25	2008年6月9日	変動	A2	A	A
D	20	2008年6月9日	変動	Baa2	BBB	BBB
E	12	2008年6月9日	変動	Ba2	BB	BB+
F	12	2008年6月9日	変動	B2	B	BB

ドイツ証券会社は、商業用不動産担保ローンや不良債権の証券化に注力し、日本企業ならびに金融機関のバランスシートの改善を支援しています。今後も、ドイツ銀行グループの強い財務基盤とグローバルな資源を積極的に活用することで、革新的な解決策を提供していきます。

以上

ドイツ銀行グループは、総資産約 8,020 億ユーロを有し、7 万 900 人の従業員を擁する世界でも有数の金融機関として、世界 76 カ国で 1,300 万人を超える顧客の皆さまに幅広い金融サービスを提供しています。特に、企業金融、証券・投資銀行、トランザクション・バンキング、資産運用、プライベート・ウェルス・マネージメントの分野では、世界でもトップクラスの金融機関として、その地位を確立しています。また、ドイツおよび欧州大陸主要国においては、個人および中堅企業向けビジネスの分野で圧倒的な強みを発揮しています。

ドイツ銀行グループは、刻々と変化するグローバル市場を舞台に、お客さまに幅広い金融ソリューションを提供していくことを使命としています。私たちは、常に前進を続けるお客さまのニーズに徹底的に応えていくことこそが、株主の皆さまに価値を創造し、私たち自身の成長につながると考えています。

日本においては約 1,350 名の従業員を擁し、ドイツ証券会社東京支店（日本における代表者兼東京支店長：ジョン・マクファーレン）、ドイツ銀行東京支店、ドイチェ・アセット・マネジメント株式会社（代表取締役社長：ティム・ハドソン）、ドイチェ信託銀行株式会社（代表取締役社長：関崎司）を通じ、企業金融、投資銀行業務、プライベートバンキング、資産運用などの広範なサービスを提供しています。

<この件に関するお問い合わせ先>

広報部 安立 聖子

電話: (03) 5156 - 7705

www.japan.db.com